

秋の叙勲

福田和也さんに瑞宝双光章

さまざまな分野で活躍し、社会貢献した人たちを表彰する「秋の叙勲」が内閣府から発表され、日野町からは、福田和也さん（黒坂）が瑞宝双光章を受章され、11月8日、赤坂プリンスホテル（東京都）で伝達式が行われました。

福田さんは昭和10年生まれ。昭和35年、根雨小学校教員に採用された後、根雨中学校、石見中学校、日南中学校および県教育委員会での勤務を経て、昭和56年に西部教育事務所勤務。学事係長などを経て平成元年、同事務所長に任命され、県西部地区の教育全般の指導に手腕を発揮されました。

平成3年、江府中学校長に任命。翌年6月から平成12年までの8年間、町教育委員会の教育長に任命され、町文化センター建設、全日本マスターズ駅伝大会の誘致などに尽力され、また、平成14年10月から4年間教育委員長を務められ、まちの教育行政全般に貢献されました。



受章のことば

このたびの受章は、おそれ多くも思わぬ喜びでした。これを励みに、今後も地域活動や地域に役立つ人生を送りたいと思います。

全国コンテストで優秀賞を受賞 日野中学校吹奏楽部

11月4日、文京シビックホール（東京都文京区）で開かれた、2006（第12回）日本管楽合奏コンテスト全国大会に日野中学校吹奏楽部が出場しました。

これは、9月に行われた予備審査を通過して出場となったもので、日野中学校始まって以来の快挙。中学校の部に出場した18人の部員らは、「バレエ音楽 ガイーヌ（ハチャトゥリアン作曲）」を演奏し、みごと優秀賞を受賞しました。

顧問の今岡祐二教諭は、「部員たちは慣れない舞台上で緊張していたようでしたが、与えられた役割をきちんとこなし、ベストを尽くして演奏できました。また、地域の皆さんに多くの支援をいただき、部員一同感謝の気持ちでいっぱいです。今後もいろんな地域で演奏活動をして恩返しができるよう頑張りますのでよろしくお願いします」と喜びを語りました。



写真左から、谷本和賀雄校長、伊田さん、稲田さん

県教育委員会表彰に 稲田浩明さんと伊田浩貴さん

教育・文化などの振興に寄与した人を表彰する平成18年度鳥取県教育委員会表彰で、日野町からは、日野中学校ソフトテニス部3年の稲田浩明さん（上菅）と伊田浩貴さん（福長）が選ばれ、11月2日、町文化センターで伝達式が行われました。

稲田さんと伊田さんは小学3年生の時からペアを組み、数々のソフトテニス大会で優秀な成績を収めており、これまでも町表彰などの賞を受賞しています。今回の表彰は、8月の全国中学校ソフトテニス大会男子個人戦で第3位となった功績が認められたものです。

オシドリシーズン到来!

シーズン初日に 650 羽が飛来

まちのシンボルとして親しまれているオシドリたちが、越冬のため 10 月下旬ごろから日野川に飛来し、愛らしい姿を見せています。

根雨のオシドリ観察小屋前の日野川では、観察小屋オープン初日の 11 月 1 日に約 650 羽を記録し、その華麗な姿を見ようと、県内外から多くの観察客が訪れました。

観察小屋でオシドリ観察ができるのは来年 3 月末まで。ピーク時には 800 羽以上が間近に観察できます。観察の見ごろは午前 7 時ごろ～午前 8 時ごろ、および午後 4 時ごろ～日没まで。皆さんもぜひ、仲睦まじいオシドリたちに会いに来てみてください。



11月1日、オシドリ観察小屋から撮影

森に親しみ、恵みに感謝

県民参加の森づくり推進事業

自然や木とふれあうことで、森の大切さを理解し、その恵みに感謝しようとして、10月26日、町内の小学生を対象に体験学習が行われました。

これは、鳥取県民参加の森づくり推進事業の一つとして根雨小学校が主催したもので、今回は、シイタケの菌体験とヒノキの枝打ち体験が行われました。

根雨小学校 4 年生と黒坂小学校の 3・4 年生を対象にしたシイタケの菌体験学習では、椎茸生産組合と日野森林組合の指導で、ほだ木にドリルで穴を開け、シイタケの種こまを打ち込む作業をみんなで体験しました。子どもたちは「ドリルを使うのが初めてで

怖かったけど、金づちで打ち込む作業は面白かった」など感想を話しました。また、下榎の鵜の池近くのヒノキ林では、6 年生を対象に枝打ち体験が行われました。

枝打ちは、良質な木材を作るため必要な作業ですが、その他にも、林の地面に日光を当てて植物を成長させることで水害を防ぐなど、環境保全にも役立っています。子どもたちは日野総合事務所林業振興課職員の指導でのこぎりを使ってヒノキの枝打ちを楽しみにしていました。今日の作業環境保護の役割があるなんてはじめて知りました」と感想を話しました。



林業の大切さを実感



丁寧にほだ木に穴をあける